



▲天井が落下した栗駒総合体育館



▲大きな亀裂が生じた築館陸上競技場



▲建物が倒壊した若柳歴史民俗資料館



▲鉄筋コンクリート製の柱が変形し、鉄筋がむき出しになった高清水総合支所



▼柱や壁が崩れ落ち利用できなくなった志波姫総合支所



▲臨時公衆電話を利用しようと列をつくりました(市役所正面玄関前)

### 公共交通機関

#### 【市民バス】

3月11日  
全路線を運休。

3月14日(4日目)  
7路線で臨時運行を開始。

3月17日(7日目)  
臨時運行を8路線に拡大。

3月24日(14日目)  
全路線で通常運行を再開。

燃料不足の中、市民の交通手段確保のため、運賃の無料化を行う。(4月8日まで)

4月9日(30日目)  
震災発生前と同様の通常運行を再開。

#### 4月21日(42日目)

東北本線が仙台駅〜一関駅間で運行を再開。

#### 4月29日(50日目)

東北新幹線が全線で復旧。

#### 【東北自動車道】

3月11日  
緊急車両の通行を優先。一般車両が通行止めとなる。

3月24日(14日目)  
一般車両の通行止めが解除され、東北自動車道の全線で全車両の通行が可能となる。

4月7日(28日目)  
最大余震発生により、一部通行止めとなったが、翌日解消される。

#### 【高速バス】

3月11日  
東北自動車道は、一般車両の通行が規制されたため、一般道を代替運行するなどしながら、徐々に復旧。

※東日本急行は、3月29日から通常運行

#### 電話

##### 3月11日

電話回線網の寸断や安否確認などの通信が込み合ったことから、電話が極端につながりにくい状態となる。

3月13日(3日目)  
市役所正面玄関前に、臨時公衆電話を5台設置。

3月14日(4日目)  
携帯電話が徐々に通話可能になる。

市は、各総合支所へ衛星電話を1台ずつ設置。

#### 【鉄道】

3月11日  
地震発生後、レールのゆがみ、架線の柱が折れるなど被害を受け全線で運休。

瀬峰公民館に、東北本線の乗客が避難。

### 5 公共施設被害

総合支所をはじめ、学校施設や社会教育施設、文化財保護施設など、公共施設に甚大な被害を受けました。

地震発生後、各施設の被害状況を分析し、再発防止策を考慮した復旧工事に取り組んでいます。

社会教育施設については、復旧工事が完了した施設から順次利用を開始しています。また、学校施設の中には、体育館が使用できなくなったため、卒業式を簡略化し、教室で行うなどした学校もありました。

#### 社会教育施設

市内には、公民館などの社会教育施設や栗原文化会館などの文化施設、体育館、競技場などの体育施設が合わせて69施設ありますが、このうちの21施設が、一部利用不能となる被害を受けました。

復旧工事によって、多くの施設が利用を再開しましたが、平成24年3月31日現在、11施設が利用不能、4施設が一部利用不能となっています。

#### 総合支所

地震により、市内の総合支所も大きな被害を受けました。特に、高清水、瀬峰、志波姫の3つの総合支所は、基礎や柱、壁などに甚大な被害を受け、施設が使用できない状態になったことから、緊急措置として、近隣の公共施設に総合支所機能を移転しました。

#### 【総合支所機能の移転先】

- 高清水総合支所↓  
高清水地域福祉センター・保健センター(ほっと館)

#### 学校施設

志波姫小学校では、震災により、校舎の壁や床のいたるところに亀裂が発生し、体育館の天井が落下するなど被害を受け、校舎と体育館が使用できなくなりました。仮校舎が完成するまでの間、一部の学年は、近くの志波姫中学校の教室を間借りし、中学生と一緒に学校生活を送りました。